

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防事業		路河川名等	(砂)田草川				
事業毎の通番		13	市町村名	飯山市	箇所名(ふりがな)	静間(しずま)			
事業概要	事業目的	田草川は、一級河川千曲川左岸に流下する土石流危険渓流である。支渓流部には崩落跡もあり、流域内には土石流対策施設や治山施設は整備されておらず、土石流警戒区域内には人家96戸、保育園、小学校及びデイサービスセンター(要配慮者利用施設)等の保全対象がある。本事業では土石流対策として砂防堰堤を整備し、土砂災害に対する防災機能の向上を図る。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	砂防法				
	関連する事業、計画等	なし							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象：人家96戸、保育園、小学校、活性化センター(避難所)、デイサービスセンター							
	着手年度	平成30年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
完成年度(見込み)	平成36年度	費用対効果	15.1		国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 1基			640,000	320,000		288,000	32,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	想定される土石流を捕捉する施設の整備により、土砂災害に対し人家、避難所等の保全が図られる。							
	間接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域の指定が解除される。							
評価の視点	必要性	【保全対象：人家】96戸 【保全対象：公共施設】市道、秋津小学校、飯山市上水道静間ポンプ室、飯山市秋津コミュニティ消防センター、静間簡易動 【保全対象：要配慮者利用施設】ひだまりJA北信州みゆきデイサービスセンター、秋津保育園 【避難場所】秋津保育園、						評価	A
	重要性	【災害履歴】なし 【交通影響】JR飯山線、市道 【位置付け】地域防災計画上の位置付け有り						評価	B
	効率性	【費用対効果】B/C=15.1 【早期効果発現】事業期間7年 【工法等比較検討】堰堤の配置、形式等について検討 【総合調整】保安林等非該当						評価	B
	緊急性	【地形地質】脆弱な地質(第四紀層) 【流域植生】放置林 【勾配】11.6° 【土砂整備率】0% 【危険地区】土砂災害特別警戒区域						評価	A
	計画熟度	【情報共有】飯山市に対して計画説明済み 【地域要望】飯山市より要望有り 【地域合意】事業に対して反対意見無し 【住民参加】座談会、避難訓練実施						評価	A
	部局意見	当該渓流の保全対象には地域防災計画に位置づけられる要配慮者利用施設が立地しているため、速やかな土砂災害対策が必要である。				採択状況	総合評価		
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。				O	A			

事業概要説明図表	位置図				
	崩壊跡				
	基準点付近				
	保全対象(デイサービスセン)				
	保全対象(秋津小学校)				
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		(砂)田草川は、一級河川千曲川左岸に流下する土石流危険渓流である。流域の地質は、第四紀層の火山噴出岩を主体としている。本渓流は、中レキ、小レキ、砂が主体で、通常は流水が少ないが、豪雨時には、急激に流量が増加し土砂流出が発生しやすい。流域内には土石流対策施設が整備されておらず、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域内には人家96戸、保育園、小中学校、避難所等の保全対象がある。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり		H20.11.17 土砂災害防止法の説明会を行い、地元からハード整備推進の意見が出された。H27.6.9 あらためて土砂災害警戒区域等点検パトロールを実施し、事業実施を要望された。		
③事業説明等の経緯		H20.11.17 土砂災害防止法説明会実施 H27.6.9 土砂災害警戒区域等点検パトロール実施 H29.5.12 飯山市に対して計画説明			
④他事業・プロジェクトとの整合、関連		土砂災害防止法に基づくソフト対策の取組 自治会レベルで座談会、防災訓練を実施			
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮		今後周辺環境への影響を抑えることも念頭に砂防施設の設計を進める予定			
⑥地域活性化への影響と配慮		施設整備により、人家、小学校、保育園及び避難所等が保全され地域の安全が確保される。			
⑦その他		コスト縮減については、詳細設計時に検討。 砂防指定地については申請予定。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 20' 19" 00 東経:E 36° 49' 40" 00	